



## 中山間地域の生産拡大へ

令和6年3月5日(火)

### JA全農いわて先進園芸実証農場竣工式

本会は3月5日、紫波町にある「JA全農いわて先進園芸実証農場」で竣工式を開催しました。竣工式には、伊藤清孝JA岩手県五連会長や照井富也岩手県農林水産部農政担当技監など関係者およそ30人が出席し、神事の後に、ピーマンの苗を定植する「栽培はじめ」のセレモニーを実施しました。

本会では、「2030年のあるべき姿」を策定し、中山間地域での施設栽培による集約的高収益園芸品目の生産拡大を推進しています。生産者の減少や拡大する耕作放棄地、昨今の気象状況などによる生産基盤の弱体化が危惧されるなか、生産者の安定生産・安定収入と純情産地いわての園芸生産拡大を目的に実証農場を設置しました。

本施設は、栽培ハウス2棟(929㎡)と作業ハウス1棟(162㎡)で、県内初となるピーマンのヤシ殻による養液隔離床栽培と排液リサイクルシステムを導入し、3月から実証を開始しました。3月下旬にピーマン苗の定植を行い、4月下旬から12月にかけて収穫を実施。ハウス2棟で栽培し、県内の年間平均収穫量の2倍にあたる10a当たり収量20tを目指します。



神事の様子



ピーマンの苗を定植する関係者ら

## 観光客へ純情産地いわての魅力を発信

令和6年4月19日(金)

### 温泉利用者へ「銀河のしずく」配布

本会は4月19日、盛岡市のホテル紫苑で開催された盛岡さんさ踊り常設公演「つなぎでつなく盛岡さんさ踊り」で、岩手県産ブランド米「銀河のしずく」を使用したパックごはんの配布を実施しました。

この公演は盛岡つなぎ温泉観光協会が、盛岡つなぎ温泉の利用者にいつでもさんさ踊りを楽しんでもらい、岩手県全体の観光に貢献することを目的に令和2年度から開催され今年で5年目となります。盛岡さんさ踊り振興協議会に所属する団体が交代で出演し、つなぎ温泉観光協会に加盟する9施設の宿泊利用者が無料で観覧できます。

今年度初回となった19日には、さんさ踊りを観覧したつなぎ温泉利用者150名に、特別協賛をする本会から「銀河のしずく」のパックごはんを配布しました。受け取った県外からの利用者は「近くでは買えないので嬉しい。帰って食べるのが楽しみ」と話しました。

「つなぎでつなく盛岡さんさ踊り」はホテル紫苑で10月末までは7月28日から8月5日を除き毎日、11月から来年3月は1月3、4日を除き毎週金、土曜のいずれも午後8時15分から約30分間開催されます。

本会では1年間を通してつなぎ温泉利用客に県産農畜産物のPR活動を実施します。



いわて純情むすめからパックごはんが手渡されました



さんさ踊りを体験する宿泊者

## ニッポンエールプロジェクト「東北産地応援」

～東北の力で日本中を笑顔に～



### 県産品を使用した商品発売中

JA全農は全国の産地を応援する「ニッポンエールプロジェクト」の共同開発商品第3弾のテーマとなる「東北産地応援」の対象商品を各メーカーから発売しています。

「ニッポンエールプロジェクト協議会」第3弾となる対象商品の素材は東北産の品目とし、各メーカーとともに商品開発を行い、東北エリアの食品メーカーと連携することで、より地元色を強めた産地応援をすすめ、地域の活性化を促しています。



### 岩手県産の品目を使用した商品

#### ●(株)エーデルワイン×ニッポンエール「月のセレナーデニッポンエール赤」

岩手県産のぶどうを数種類ブレンドし、それぞれのぶどうの特徴や味わいを活かした口当たりの優しい甘口の赤ワインです。盛岡市サンビルの純情ショップをはじめ東北の量販店等を中心に購入可能です。

#### ●山崎製パン(株)×ニッポンエール「もちもちとしたコッペパン」

JAいわて中央供給の岩手県産ひとめぼれのうるち米粉を使用しています。いわての牛乳との相性も抜群で、米粉のもちもち食感が癖になるコッペパンです。全国の量販店等を中心に購入可能です。

## 今年の父の日は6月16日

5月8日(水)～6月11日(火)



### JAタウン父の日ギフト特集

JAタウン「いわて純情セレクト」では5月8日から父の日ギフト対象商品の掲載を開始します。ぜひこの機会にご利用ください。

「純情産地いわて」から、選りすぐりの農畜産物を販売しています。オススメ商品盛りだくさん!詳しくはQRコードから ▶▶▶▶▶



■いわて純情米キューブ米3種 (3合×各3個)5年産 ¥4,470(税込)



■五月長根(白)・シルバーツヴァイゲルト(赤) 2本セット[辛口] ¥5,580(税込)



■いわて牛五ツ星ロース しゃぶしゃぶ用 500g ¥9,700(税込)



■いわて牛五ツ星サーロインステーキ (200g×2枚) ¥9,100(税込)

#### 4. 県有種雄牛の造成、優良雄牛群の保全・改良について

岩手県や関係機関と連携し、種雄牛造成、優良和牛雌牛群の保全に取り組んでいます。昨年度検定成績では、複数の項目で県歴代最高を大きく更新しました。

また、先人の方々が築き上げてきた岩手県の特徴ある和牛を守り、今後の持続可能な改良のため、遺伝的多様性の保全にも取り組んでいます。



藤八雲



菊美翔平



福太郎3

#### 5. 第13回全国和牛能力共進会「北海道大会」について

(1) 開催テーマ：「魅力発信 新しい力でつなぐ 和牛の未来」

開催期間	令和9年8月26日(木)～8月30日(月)
開催場所	・種牛の部、高校及び農業大学校の部
	【展示会場】音更町：ホクレン十勝地区家畜市場 【催事会場】音更町：希望が丘運動公園ほか
	・肉牛の部、高校及び農業大学校の部
	【審査会場】帯広市：(株)北海道畜産公社十勝工場 【セリ・観覧会場】帯広市：よつ葉アリーナ十勝



#### (2) 今後の取り組みについて

岩手県関係機関と連携し、今年度より出品牛造成のための交配がスタートします。また、肉牛の部での更なる上位入賞を目指し、短期肥育の実証試験を実施します。



第12回全国和牛能力共進会「鹿児島大会」の集合写真



# INTRODUCTION

畜産酪農部

#### 1. 和牛登録室の取り組みについて

和牛登録室では以下の業務を行っています。

- (1) 全国和牛登録協会の委託を受け、主に和牛の登録・登記業務を行っています。
- (2) 県の種雄牛造成など和牛の育種改良にも取り組んでおり、その成果を確認する場の一つが共進会という名の品評会であり、その審査員も担っています。そして、5年毎に開催される全国和牛能力共進会出品に向けた対策にも取り組んでいます。
- (3) 和牛市場開設時には、鑑定業務を行うセリ人など、市場業務を家畜市場課と行っています。



第12回共全 審査風景



令和5年県共  
日本短角種



令和元年県共 黒毛和種群出品



セリ風景

#### 2. 和牛の登録・登記について

和牛は日本が誇る肉用種として世界的に高い評価を得ています。品質の高さはもちろん、血統や生産履歴が登録事業によって保証され、消費者への信頼の証となっています。

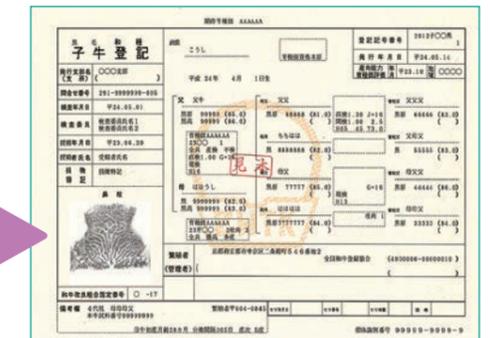
#### 3. 和牛の審査について

発育、体型、被毛や皮膚、顔や体の品位などの良否を審査します。

牛の個体確認においては、精肉にも表示してある牛の個体識別番号が印字している耳標とともに、従来から変わらず「鼻紋」という鼻の紋様で確認作業を行っています。



鼻紋は  
一頭一頭違う  
紋様だも～!



# みどり戦略

プロジェクト



営農支援部  
営農支援課 課長

遊田 善幸



## いわて純情米消費拡大フェア

「いわて純情米アンバサダー」に就任した岩手県出身の千葉ロッテマリーンズ佐々木朗希投手×いわて純情米オリジナルステッカープレゼント!

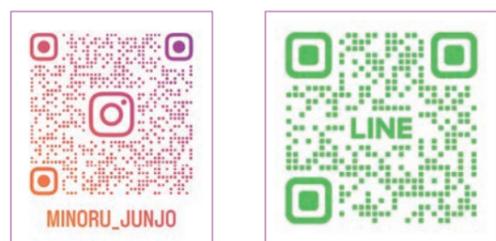


## みのもろのダイニッコウ

4月29日(月)~5月29日(水)の期間中、いわて純情ハンバーグ定食(ごはん・みそ汁セット)をご注文のお客様限定でごはんおかわり無料、ステッカーをプレゼントします。



いわて純情ハンバーグ定食  
1,529円(税込)



旬の食材やフェアの情報を発信中!

## JAタウン「いわて純情セレクト」

4月29日(月)~5月29日(水)の期間中、金色の風・銀河のしずく食べ比べセットをご購入の方に抽選で20名様にステッカーをプレゼントします。



「金色の風・銀河のしずく」食べ比べセット  
(5kg×2種) 6,140円(税込)

※ステッカーはお1人様1枚のプレゼントです。ステッカーの種類は選べません。

**1 国の取り組み**  
令和3年5月に国が「みどりの食料システム戦略」(以下、みどり戦略)を策定し、同戦略の実現を目指す法制度として、「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」が令和4年に制定・施行されました。

**2 本会の取り組み**  
「みどり戦略」の「目指す姿」へ向かうためには、取り組みメニューの具体化と共有、ならびに生産者や消費者へ本県の取り組みを適宜発信する必要があると考え、令和5年4月の運営委員会において、整理したメニューを「JAいわてグループ「純情産地いわて・みどり戦略ビジョン」とし、審議・承認いただきました。JAならびに本会の品目各部署は、関係する

純情産地いわて「みどり戦略ビジョン」総括(令和5年度)	
<b>1. 土壌診断による適正施肥…達成度: B</b> 概ね目標を達成できた	<p><b>目標</b></p> <p>■R5~R7:土壌分析 6,000件/年(県内のみ)</p> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌分析件数:6,284件(3月末実績)</li> <li>・くみあい肥料と連携し農家推進時に土壌診断による適正施肥の取り組みを促進</li> <li>・肥料高騰対策のメニューとして推進</li> </ul>
<b>2. 耕畜連携による資源循環…達成度: B</b> 概ね目標を達成できた	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WCS R5:2JA計2.8haにて食品品質栽培・地域内供給の検証実施</li> <li>・R7までに県内で実証面積計10haを目標とする</li> <li>・鶏ふんのBB肥料原料化に向けた取組み</li> <li>R5~6:試験、R6~7:実証・普及</li> </ul> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WCS 2JAで2.6haの栽培</li> <li>・6年度の作付面積拡大と専用品種による試験生産を実施</li> <li>・モデル経営体による新規取組みが決定(作付面積:2ha)</li> <li>・4戸の酪農場に合計約1,300個のWCSを斡旋できた</li> <li>・堆肥入り混合BB肥料・4品目の固結試験を実施、うち2品目は試験結果良好により流通に向け継続試験を行う</li> </ul>
<b>3. 水稲栽培における「秋耕」の実施、またはそれに準じた取り組み実施…達成度: B</b> 概ね目標を達成できた	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5~R7:全JAで「秋耕作業」について、栽培履歴・栽培記録簿に100%掲載</li> <li>・R12:JAいわてグループが取り扱う米はすべて環境負荷低減米を目指す</li> </ul> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋耕実施率39%(11,847ha)</li> <li>・メタンガス削減効果試算 ▲91千トン</li> <li>・各JAとも注文書や談話会資料等に掲載された栽培暦や指導書に「秋耕」が掲載されているのを確認</li> <li>・「JAいわて平泉」「JA岩手ふるさと」に対し、「クレジット」の取り組みに係る説明を実施</li> <li>・「JAいわて平泉」では別途生産者を対象とした説明会を開催、6年度で600haを目指して取り組むこととなった</li> </ul>
<b>5. 特別栽培や省農薬・省化学肥料による生産…達成度: B</b> 概ね目標を達成できた	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別栽培農産物栽培面積維持</li> <li>R4:主食用米6,630ha(生産面積比15%)</li> <li>→ R7:6,630ha(17%)</li> <li>※野菜(25ha)、果樹(130ha)もR4同水準を維持</li> <li>・化学農薬、化学肥料使用量を慣行比▲20%(特栽培含む)</li> <li>R4:農薬成分抑制水稲10,580ha(生産面積比24%)</li> <li>→ R7:10,580ha(26%)</li> <li>※園芸品目は収量への影響を勘案しつつ削減に努める</li> <li>※化学肥料の削減は、R5の堆肥等の使用状況を鑑み、今後検討する</li> </ul> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別栽培米 集約実績 R4:19,993ha(6,630ha)</li> <li>R5:16,592ha(5,503ha)</li> <li>・6年度、園芸品目でバイオスティミュラント資材を用いた減肥栽培試験を実施する</li> </ul>
<b>8. 農業用プラスチックの排出抑制…達成度: B</b> 概ね目標を達成できた	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被覆肥料代替技術の実証と普及</li> <li>R5:実証・普及 R6:普及 R7:実用</li> </ul> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被覆肥料の代替となる肥料について、令和6年用からJA江刺で採用となった</li> <li>・追肥型栽培に向けて、BBドローン追肥専用肥料が2JAから受注があった</li> </ul>
<b>10. 集乳事業の一元化…達成度: A</b> 目標を超えた	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5~:生産者・JA・県本部による検討</li> </ul> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花巻・遠野地区の路線合理化による積載率の大幅改善</li> <li>・いわて平泉の路線合理化・新たな運賃補填の決定</li> </ul>
<b>13. 「Xarvio(ザルビオ)」の活用…達成度: A</b> 目標を超えた	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ザルビオの活用</li> <li>R4:9件 → R7:累計20件</li> <li>・可変施肥</li> <li>R5-R6:試験実証 → R7:実践導入</li> </ul> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ザルビオ導入件数:21件</li> <li>・可変施肥試験実証:1経営体</li> <li>・手取り最大化セミナーでの紹介により2名の生産者から導入の要望あり</li> <li>・JA&amp;クボタアグリビックin岩手2023を通じて、ザルビオを紹介</li> <li>・クボタセールススクール表彰大会(2/15)の中でトップセールスの職員に対しザルビオの活用事例を紹介</li> </ul>
<b>20. 効率的な輸送体系の確立…達成度: B</b> 概ね目標を達成できた	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米穀ではR5~R7:総袋輸送の50%を一貫パレチゼーション化を目指す(岩手県としての目標)</li> <li>・R12:全農統一フレコン導入率を100%(現状約25%)</li> <li>・園芸では11型パレットを統一規格とし、出荷規格・出荷容器の対応を進める。</li> <li>→ R5(新規1品目)、R6(新規2品目)</li> <li>・園芸ストックポイント R6:県外1か所設置</li> <li>・資材では11型パレットに適合する段ボール規格設定の取組みR5:2品目、R6:2品目、R7:2品目</li> </ul> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米穀において絆倉庫に11型パレットを1,000枚導入</li> <li>→ 全体流通3900枚(4,914枚)</li> <li>・園芸品目において輸送の効率化・積載率の向上につながった</li> <li>・11型パレット適合段ボールへの切り替え(6年度からピーマン・ナス)</li> </ul>
<b>22. 取り組みの発信…達成度: B</b> 概ね目標を達成できた	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5~R7:広報誌掲載(上下期各1回)、報道機関へのリリース(随時)、メディア媒体活用PR(上下期各1回)</li> </ul> <p><b>5年度の実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌掲載(上期1回、下期0回)、報道機関へのリリース(上期1回)、メディア媒体活用PR(上期2回)</li> <li>・日本農業新聞に掲載されたことで県外からの問い合わせが多く、本県の進め方・考え方を説明できた</li> </ul>

**令和5年度のJAいわてグループ・みどり戦略ビジョンの取り組み総括**

メニューに対する行動計画を策定・共有して取り組みを開始し、令和5年10月には上半期の取り組み実績や進捗状況を確認・共有を行いました。

令和5年度末の進捗状況を確認したところ、22メニューのうち20メニューの達成度は「概ね目標を達成できた」、2メニューの達成度は「目標を超えた」となりました。

高温による生育障害等の影響もありましたが、取り組み初年度に、JAとともに大半の目標を達成できたことは大きな一歩であると感じております。

令和6年度は、目標達成に向けた取り組みを継続するとともに、消費者や取引先に対し「JAいわてグループ「純情産地いわて・みどり戦略ビジョン」」の5年度実績と6年度目標と行動計画を紹介し、環境に配慮した本県の農畜産物生産の取り組みの「見える化」を進めてまいります。

※一部抜粋



# いわて純情むすめ 2024 募集

IWATE JUNJO- MUSUME AUDITION  
純情産地いわての魅力を  
全国に伝えてみませんか



photo: 2023いわて純情むすめ

### SNS INFORMATION

純情むすめの活動はSNSで配信!  
主な活動実績なども  
ご覧いただけます



### 2024いわて純情むすめ募集要項

【応募資格】  
①2024年7月1日現在で、満18歳以上25歳以下の健康で明るい未婚女性。  
※再入学生は除く。  
②若手県民在籍者で、自費他費は問いません。  
※県外に在籍する1年間で県内に転居する予定のない方。  
③農業関係する1年間を通して、県内外で開催するイベント・歴史遺産活動・メディア出演・テレビ番組出演等各種行事のほか、研修等に曜日を問わず参加・協力できる方。  
④最終選考および事前研修、認定式へ参加できる方。

【応募方法】  
JA全農いわてホームページ内の応募フォームからご応募できます。  
必要事項①身長 ②希望の産地 ③趣味・特技 ④今まで行ったクラブ活動 ⑤自己PR  
⑥いわて純情むすめや若手県民農業推進部へのイメージ、いわて純情むすめになってやりたいこと ⑦応募を知った広告媒体を必ずご記入の上、  
3か月以内に撮影した笑顔で加工されていないカラー写真(正面  
向き)の全身写真・顔写真(顔のほりり分かるもの)それぞれ  
1枚ずつを添付ください。

【応募締切】 2024年5月26日(日) 23:59まで  
【募集人員】 5名(予定)  
【審査方法】  
①第1次選考 書類審査により20名程度を選考。結果は審判にて通知いたします。  
②最終選考 面接審査(私服着用)により選考。2024年6月6日(水)19時  
③事前研修 2024年6月12日(水)・13(木)19時  
④認定式 2024年6月25日(水)19時  
※原則、上記日程に参加できる方。※選考方法は変更となる場合があります。  
【活動期間】 2024年6月(研修期間) 2024年7月1日～2025年6月末日  
【日給】 当会規定に基づき、業務の都合日給および交通費・宿泊費を支給いたします。ただし、事前研修は日給の支払いはありません。

応募方法 JA全農いわてホームページ内「2024いわて純情むすめ」応募フォームからご応募ください  
応募フォーム <https://junjomusume.com/> JA全農いわて 検索

【賞品】  
①応募者全員  
みのるダイニングお食事券(1,000円分)  
②第1次選考通過者(最終選考出席者)  
みのるダイニングお食事券(3,000円分)  
③採用決定者/  
・正賞 認定証(記念牌)  
・副賞 VISAギフトカード(7万円分)  
みのるダイニングお食事券(1万円分)  
いわて純情プレミアムギフトカタログ  
JAタウンカード(1万円分)  
※お申し込み個人情報は関係者に適切に管理し、事業の目的で利用いたします。審査以外に開示するものではありません。個人情報開示の拒否については「個人情報保護法」における個人情報保護法第23条第2項に基づき対応いたします。

JA全農いわて 総合企画課 〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号サンビル4F TEL.019-626-8615 受付 9:00~17:00時(土・日・祝日を除く)

先月発行しましたクララ4月号に誤りがございました。  
P.12「県本部連絡先一覽」  
(誤)園芸特産課 FAX (019)639-5788  
(正)園芸特産課 FAX (019)638-2145  
(誤)生産振興戦略室  
住所 〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南二丁目5番2号  
電話番号 (019)614-1896  
FAX (019)638-2145  
(正)生産振興戦略室  
住所 〒028-3452 紫波郡紫波町片寄鍛冶屋敷5-1  
電話番号 (019)673-8066  
FAX (019)673-8068  
読者の皆様ならびに関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

## 編集後記

「2024いわて純情むすめ」の募集が始まりました!  
今年の募集ポスターは「2023いわて純情むすめ」たちが素敵なイラストになりました♪  
「純情産地いわて」の魅力と一緒にPRしてくれる皆様のご応募をお待ちしています! (西川)

## KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にのっている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。  
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、  
**生産者と消費者を  
安心で結ぶ懸け橋**  
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

